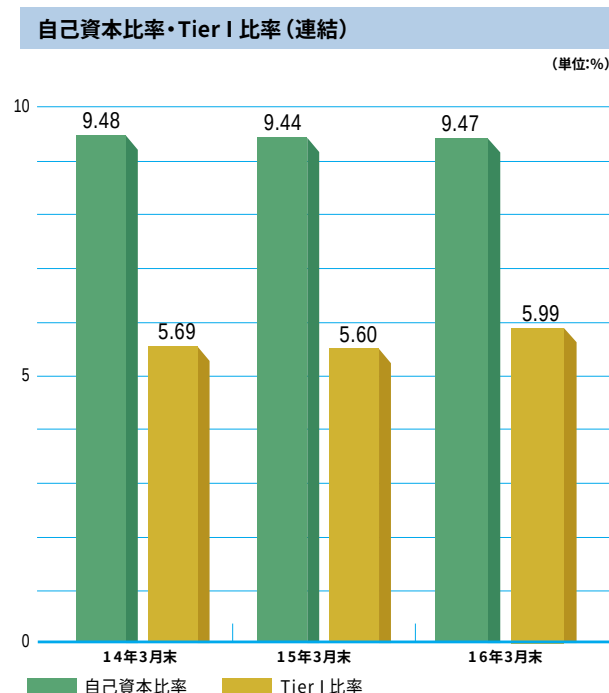
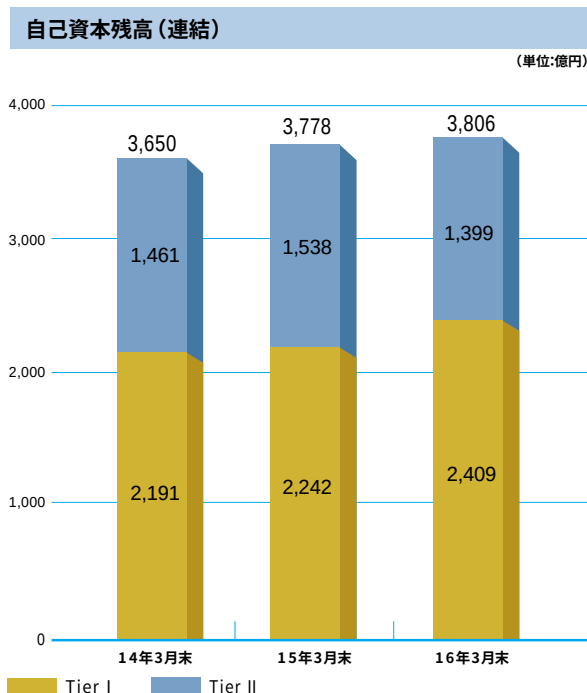


自己資本比率の状況

平成16年3月末の自己資本は利益の着実な積み上げにより、前年比28億円増加し、3,806億円となりました。このうち基本的項目であるTier Iは、前年比167億円増加しております。

この結果、自己資本比率（連結ベース）は前年比0.03%上昇し、9.47%となりました。また、Tier I比率も前年比0.39%上昇し、5.99%となっております。



■ 自己資本比率とは

総資産（貸出金など）に対する自己資本（資本金および過去の利益の蓄積等）の割合を示したもので、経営の安全性を示す重要な指標といわれています。

海外拠点を持つ銀行は国際統一基準（BIS基準）により8%以上を保つことが義務づけられております。ふくぎんは海外支店がなくなったことから12年3月期より国内基準を適用しています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{資本金などの自己資本}}{\text{貸出金などの資産}}$$

資産の内容ごとに信用リスクの度合いが考慮されます。